



令和7年度基本研修受講者の声を紹介します

仲間との対話により、
新たな気付きや次への意欲に繋がっています

初任者研修



幼稚園

講義、演習、協議を通してICT活用についてまるで授業を受けているみたいで、意欲的に受講することができました。グループの意見をまとめ、イラストをいれた分かりやすくよい成果物ができました。

小学校

「授業力」の講座を受講し、教材研究の楽しさと同時に、その難しさも実感しました。演習では、よいアイデアに出会ったり、「なるほど」と気付かされる視点に触れたり、討論を通じて新たに理解が深まつたことも多くありました。また、自分の工夫に対して肯定的な評価を得たことで、大きな励みとなりました。

中学校

本日の研修を振り返って、改めて神奈川県の教職員としての誇りを実感しました。神奈川県は教職員の資質向上にも力を入れており、研修や支援体制が整っていることも、誇りの一つであると思います。常に学び続ける姿勢を持ち、同僚と協力しながら自己研鑽に努められる環境があるからこそ、よりよい教育を提供し続けられるのだと実感しています。

高等学校

「入学者選抜等における採点と点検での事故防止」については、これまでの「採点誤り」とそれに伴う「再発防止・改善策」により事故の起きにくい仕組みに変えられていったことが分かりました。入学者選抜に係るミスは、受験者の一生を左右しかねない重大な事故につながることを念頭に業務に当たっていきたいです。「行政文書の管理」では、自分は教務手帳や定期試験などをしっかりと管理しているつもりですが、「誰にでもおきるかもしれない」と考え、自分事として捉えるようにしたいです。

特別支援学校

図形を相手に伝える研修では、支援学校の視点から考えると「言葉のみで伝えること・理解することの難しさ」「質問ができないことのもどかしさ」「相手の理解度が分からぬ状態で伝えることの難しさ」を実感しました。今後も簡潔な説明と分かりやすい視覚教材を活用して支援を行っていきたいと思います。

1年経験者研修



授業内における生徒との関わり方について考える機会となりました。これまでには、授業の構成について考えることに終始していて、その中の生徒との関わりをうまくもてていなかったということに、今回の研修を通じて気付きました。また、単元を貫く問い合わせの設定について、自己の認識を改める契機となりました。今後、問い合わせの形にこだわらず、生徒が単元を見通して学習を進めていくような問い合わせを考えていきたいと思いました。

4年経験者研修



これまでの経験を振り返り、今後のキャリアデザインを考えるきっかけになりました。

一方的な講義だけでなく、経験の振り返りや今後の目標設定に関する個人ワーク・同僚との連携や協働について考えるグループワークを通して、主体的に学びを深めることができました。

これにより、自身の経験を改めて見つめ直し、他者の意見を聞くことで新たな視点を得たり、具体的な行動計画を立てたりすることができました。

【資料展示の御案内】

～教育図書室・教育史編纂事務局共同展示・戦後80年昭和100年企画～

「教科書の歴史を知ろう」「教育史資料から見る戦後の神奈川の教育」

総合教育センターは、1948(昭和23)年、前身の神奈川県教育研究所の設立以来、県内の各市町村教育委員会及び学校から寄贈された貴重な教育資料およそ5万点や、教科書センターとして収集してきた約3万冊の戦後検定教科書を保管しています。

これらの資料について、これまでも資料展示、映像展示などを行ってきましたが、本年が戦後80年・昭和100年を迎えることから、教育図書室と教育史編纂事務局が共同で展示を企画しました。

「教科書の歴史を知ろう」

江戸時代の版本（はんぽん）※1、明治・大正時代の国定教科書、戦争中に国民学校で使われた教科書、戦後の検定教科書と、教科書の変遷を紹介しています。特に、終戦直後の小学校で使われた墨塗り教科書、昭和21年度の暫定（ざんてい）教科書※2などは、教科書の歴史を知るうえで貴重な資料として注目すべき展示内容となっています。また、戦後の検定教科書のコーナーでは、そのカラフルな表紙が教科書の新しい時代の到来を感じさせます。

「教育史資料から見る戦後の神奈川の教育」

新しい学校として生まれた「中学校」に関する資料、教育委員会や指導主事に関する資料、学習指導要領など、戦後の教育を物語る資料も併せて展示しています。

研修等でセンターにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。なお、見学を希望される方は、5階の教育図書室カウンターまでお声がけください。

※1 版本…木版刷りの書物

※2 暫定教科書…1946（昭和21）年に発行された教科書で「仮」と「じ」教科書とも呼ばれています。新聞紙のような紙に印刷された教科書が子どもたちに配られ、それを自ら折りたたみ、とじ合わせて使用しました。

◆展示時間 9:00～17:00（月～金曜）土日祝および年末年始は開室していません。

◆問合せ先 学校教育支援課学校支援班 電話 0466-81-1659（直通）



墨塗り教科書

『カズノホン 四』

文部省1941(昭和16)年



展示会場は、5階の多目的室です！

「こんな児童・生徒はいませんか?」CASE①

「Aさんは学校に休むことなく来ます。行事には前向きに取り組みます。友だちとも楽しく過ごしています。

しかし、授業中はいつも寝てしまいます。先生たちは起こしますが、また寝てしまいます。おかげに提出物も出ません。放課後も先生方が課題と一緒にやろうとしますが、帰ってしまうのです。」

さて、Aさんにはどのような支援ができるでしょうか。



授業観察とケース会議を経て、以下のことが分かりました。

・個別の指示は理解できる。・問題をやろうとする気持ちはある。・提出物や補習があることを忘れてしまう。・整理整頓が苦手。・元気がなくなっている。これらのことから背景にADHDがあると見立て、支援策を考え、Aさんを支えました。教育相談課では「学校訪問相談」でこうした授業観察や行動観察を行ったのち、ケース会議に参加し、みなさんと児童・生徒への支援の方向性を一緒に考えます。お困りのときはぜひお問い合わせください。

【連絡先】教育相談課 0466-81-8521

